

地区計画の見直し方針の構成（たたき台）

- 地区計画の見直し方針は、都市計画マスタープランに基づき、地区計画策定後の都市の変化を踏まえ、地域の課題解決と価値の向上を図る機能更新を誘導するため、現状の地区計画の見直しを進めていく重要な方針となる。
- そのため、地域課題におけるデータの可視化を基に、目指すべき地域の将来像を地域ごとで共有できる基本的な考え方を示すものとする。

構成（素案）	記載内容の方針（素案）
第 1 章 地区計画の見直しの背景、必要性	<ul style="list-style-type: none"> ● 地区計画策定後から約 20 年が経過し、都市や社会の変化を踏まえ地区計画の見直しの目的や必要性を明らかにする。
第 2 章 地区計画の見直しにおける課題整理	<ul style="list-style-type: none"> ● 既決定地区計画内の土地利用の変化、建替え状況、人口推移等の社会環境の変化等の課題を整理する。 ● また、関連する法整備・諸計画の動向を踏まえた課題の整理を行う。
第 3 章 地区計画の見直し方針	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域課題におけるデータの可視化を基に、目指すべき地域の将来像を地域ごとに共有できる基本的な考え方を示す。 ● 現状では次の趣旨を方針とすることを想定している。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 住機能の量だけの誘導を廃止し、住民の生活の質の向上を図るための誘導用途（生活利便施設や保育・教育等）に関すること。 ・ 地域特性や目指すべき将来像に対応した規制・誘導に関すること（高さ等）。 ・ 地区計画の変更に向けた検討プラットフォームの構築及び検討プロセスに関すること。
第 4 章 実現への道筋	<ul style="list-style-type: none"> ● 都市計画マスタープランで定めた将来像を実現するため、この方針を地域で共有し、今後の具体的な地区計画変更を進めていく道筋などを示す。